



### 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索

WEB: <http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail: [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)



## 福岡県地域革新懇交流会が開催されました

7月16日(月) 14:00~16:30 ちどりビル大会議室で、上記交流会がありました。地域で活動されている皆さんが集まり、会場は明るく熱気がありました。



第1部は、乾友行氏(全国革新懇事務室長)の基調講演。以下の4つの基本視点から、わかりやすく、元気の出るお話でした。

- (1) 「市民と野党の共闘」は何を掲げた共闘か
- (2) 共闘破壊の企てとたたかい、「市民と野党の共闘」を守り、鍛えた
- (3) 今日の「市民と野党の共闘」の到達点の特徴から
- (4) 「市民と野党の共闘」の発展と革新懇運動の役割

第2部は、6つの地域革新懇からの活動報告があり、北九州市からは、小倉南革新懇と八幡西革新懇の生き生きとした活動報告がなされました。とりわけ、福津革新懇の報告は、乾さんのお話を具体化したような内容で、全員に感銘を与えました。革新懇運動の広がりとともに、福津市長選を市民と野党の幅広い共闘で闘い、行政改革を強行する現市長を破り、新しい市民対話を原点とする市長が誕生した(2017年2月5日)という報告でした。詳細は、北九州革新懇ニュースに掲載されます。

## 「公共施設よくする会」が教育委員会と意見交換

「北九州市公共施設をよくする会」は、昨年8月から学校施設等の危険箇所を指摘し改善を求めてきました。改善を申し入れた教育委員会から回答を受け意見交換しました。大阪地震で学校のプールのブロック塀が崩落して女子児童が死亡した事故を受け、北九州の学校施設にあるブロック塀の、安全性について調査した件について報告を受け、懇談と意見交換を7月18日13時から行いました。福建労や北九州地区労連、新日本婦人の会、日本共産党市議など21人が参加しました。

学校ウォッチングの活動は、福建労北九州支部、新日本婦人の会、北九州地区労連などで構成し、これまで10回市内の小中学校、特別支援学校を見て回り、危険箇所、改善しなければならぬところなど指摘してきました。昨年は市内14校を回り、壁の崩落や雨漏り等、危険箇所として指摘し改善を申し入れました。学校予算や教育委員会の予算で、すでに修理改善されたものも多くありました。教育委員会施設課長は、「皆さんからの要望と学校からの要望を職員が調査し優先順位を決めている。学校は維持・管理が良ければ60年は使える。」予算上の問題もありすべての指摘箇所が改善されていませんが、毎年粘り強く学校ウォッチング活動を継続していくことが、安全・安心の学校にしていくためには必要なことだと思われました。(堀田和夫FBより)



## 平和ネット、7月の19日定例行動

7月19日(木)、「平和をあきらめない北九州ネット」が19日定例宣伝行動を実施しました。猛暑でしたが、労働者、新婦人の会、弁護士等30人が参加しました。なお8月19日(日)の定例行動は中止し、以下の学習会を開催することにしています。多数のご参加で、3000万署名運動の機運を盛りあげましょう。



8月25日(土)14:00 高田健さん(総がかり行動実行委員会)生涯学習総合センター

「改憲阻止に向けての運動の到達点と今後の課題」

## 猛暑吹き飛ばす、元気いっぱいの平和行進

広島に向けての2018年平和行進が、7月17日北九州入り。18日黒崎から戸畑区牧山、19日は戸畑区牧山から小倉勝山公園長崎の鐘、20日は下曾根から小倉勝山公園長崎の鐘。21日16時30分頃門司港棧橋から下関へ、17時30分から唐戸棧橋で山口へ無事引き継ぎました。猛烈な暑さの中、例年に比べて参加者が少し少なかったようです。



## 第60回自治体学校、始めて九州(福岡)で開かれる!

7月21日~23日まで、福岡市で開催された第60回自治体学校は、九州福岡開催らしい

内容で、大変充実したものとなりました。西日本豪雨・大水害のなか、850名もの多数の方々が、全国から参加し、熱気に満ちた学びの場となりました。初日の特別対談では、太田昇真庭市長を招き、「里山資本主義」真庭の挑戦について縦横に語っていただき地域経済の持続的成長の可能性に自治体行政の未来の展望が拓けるような対談でした。

2日目は、10の分科会、2つの講座、3つの現地分科会があり、3日目は、馬奈木弁護士の特別講演がありました。自治体学校の概要は、「住民と自治」誌や所報で、掲載される予定です。



## 第3回「線量計が鳴る」北九州上演実行委員会

7月23日(月)、上記実行委員会が開かれました。中村敦夫ひとり語り「線量計が鳴る」上演は、以下のようにきまりました。

11月17日(土)13時30分開場 14時開演  
子どもの館ホール(黒崎コムシティ7F)  
次回実行委員会は、9月4日(火)18:30  
生涯学習総合センター



## 企画運営委員会で市長選について話し合う

7月26日、企画運営委員会で市長選挙に対する市民の会の取り組みを検討しました。幹事会方針(5月17日)に従い、市民の会を超えた市民と野党の幅広い共同で闘うためのこれまでの活動を確認し、数名の呼びかけ人で「市長選をどう闘うかの懇談会」を開催することを決めました。次回運営委員会は、8月31日(金)18:30 市民の会事務所。



## 北九州民商と市民の会が懇談会

7月27日(金)、北九州の全支部の民商役員さんが小倉民商に集い、市民の会と懇談しました。「候補者が決まり体制ができれば、われわれは、必死で市長選を闘う覚悟は出来ている」「北橋市政への批判は強いが、市民の多くには知られていない」「下北道路など、北橋市政の特徴を分かりやすく解説し、市民が納得する政策をつくるべき」「中小企業、農林漁業を復興し、防災に強い安心の北九州市政をつくる」など貴重な意見交換ができました。最後は、共に頑張りましょうと拍手で懇親会を閉めました。



## 八幡東区区民の会が「住民福祉とまちづくり」学習会

7月27日、平和と暮らしを守る八幡東区民の会は、八幡東大谷市民センターにおいて、「住民福祉のまちづくりを考える講演＆区民のつどい」を開催しました。北九州市立大学坂本毅啓教授を招いて「住民福祉とまちづくり」の講演があり、参加者に「住民のための福祉を重視したまちづくりに向けて何をしますか」と問いかけ、まず話あうことから始めて、要求で協働し行動しようと呼びかけました。徳力団地での高齢者の訪問活動や子ども食堂の報告がされ各地での活動が紹介されました。参加者からは、地域の力を発揮する高齢者の経験を活かした取り組みが必要。自治会へ積極的に参加することや市の緊急道路補修事業の活用で町内の安全・整備を16年間続けている報告などがされました。市の八幡東区子どもと母の図書館廃止など中央町付近の公共施設の廃止・集約に対して、住民の声を上げようと訴えもありました。



市のホームページ「ネット窓口(電子申請)」で、「第8回北九州市都市景観賞」から市民投票する。  
③ 景観賞・投票募集リーフレットの葉書部分を切り取って郵送  
リーフレットは、市役所1階、各区役所総務企画課、出張所、市民センターにあります。  
次回連絡会 8月28日(火) 13:30 大谷市民センター

## 3000万人署名、北九州憲法共同センターの街頭宣伝

8月4日(土)、11:00~12:00、小倉駅デッキ。北九州憲法共同センターの街頭宣伝。たまたま知らずに通って、飛び入り参加。安部首相は通常国会で改憲発議を目標としました。しかし全国統一署名が国会に届けられ、憲法審査会での9条議論はゼロ。まさに署名の力、国民世論が戦争する国づくりにストップをかけています。3000万人署名を成功させて、宝の9条をみんなで守りましょう。(田村貴昭さんFBより)



## 「若松区民の会」が若松区長を招き講演会

7月27日(金)、「わかまつ区民の会」は、古賀若松区長を招き、若松の街づくりについて講演会を開催しました。古賀厚志若松区長は、90枚のスライド(パワーポイント)を自ら作成、自ら若松区民に「若松区のまちづくり」について熱く語りました。「若松の魅力を生かしたまちづくり」や「20年後を見据えた若松のまちづくり」について客観的データを示して説明しました。「今後も区民の皆様のお力と若松を思う気持ちを大切に、一層の賑わいづくりに取り組んでまいります」と話を結んだ。続いて、山内市議より、共産党市会議員団発行の『100万人の笑顔のために』を参考資料として、6月議会報告がありました。



若松区民の会は、古賀区長と双方向で対話しながら、若松の街づくりを考える機会をつくるそうです。各区で区長と語る会を持ちたいものです。

## 稲嶺進講演会、300人を超える参加者が感動

8月5日(日)、辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会が主催した稲嶺進講演会は、何としても辺野古基地建設を許さないという私たちの決意と熱気で満ちていました。稲嶺さんは、辺野古基地反対の沖縄の不屈の闘い、市長時代の輝かしい実績、安倍政権の姑息な争点隠し選挙戦術などを誠実に話され、私たちひとり一人の心に響きました。子どもたちの未来を守るために何をしなければならぬかを諄々と語られ、闘いはこれからだと思いました。この機会に、辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会へのご入会をよろしく広めてください。



## 原水爆禁止条約発効へ共同さらに！ 原水爆禁止世界大会 ヒロシマデー集会6000人

原爆投下から73回の「原爆の日」を迎えた6日、広島市民らは同市主催の平和記念式典をはじめ市内各地で、原爆が投下された午前8時15分、犠牲者を悼んで黙とうしました。式典での「平和宣言」で松井一実市長は、核兵器禁止条約の発効にむけて、日本政府に「役割を発揮してほしい」と表明。式典には日本共産党の小池晃書記局長ら党代表団が出席しました。原水爆禁止2018年世界大会・広島は、ヒロシマデー集会(閉会総会)を開催。被爆の実相を広げ、禁止条約の発効を求める国際的共同发展をめざす決意にあふれました。県立総合体育館で開かれたヒロシマデー集会では、全国から6000人(主催者発表)が参加。市民社会と政府のさらなる共同などを訴える「広島からのよびかけ」(決議)を採択しました。日本共産党の小池晃書記局長があいさつし、国連での核兵器禁止条約の採択と朝鮮半島での非核化に向けた動きにふれ、被爆者・国民の願いに背き、禁止条約に反対する安倍晋三首相を「どこの国の総理か」と批判。「禁止条約の発効に向けて、『ヒバクシャ国際署名』を広げに広げよう。市民と野党の共闘をすすめ、禁止条約にサインする政府をつくろう」と訴えると大きな拍手が起こりました。(日本共産党ホームページより)



## 市職労親和会(退職者の会)が定期総会

7月28日(土) 11時30分から、北九州市職労親和会(退職者の会)第26回定期総会が開かれました。総会に47人の会員が参加し、開会冒頭この1年間で亡くなられた8人の会員を偲んで黙祷。来賓として北九州市職労前田書記長、日本共産党の衆議院議員田村貴昭会員、北九州市議の大石正信会員から挨拶を受けました。



その後議事に入り、2017年度事業報告、2018年度事業計画、2017年度収支報告、2018年度予算(案)の提案があり、すべての議案は満場の拍手で採択されました。最後に、参加者全員で記念写真を撮りました。懇親会では、おいしい食事をいただきながら、うたごえあり、参加者からの近況報告ありの楽しい時間を過ごすことが出来ました。

田村貴昭衆議院議員は北九州市職労本庁支部で書記をしていました。その後、日本共産党北九州市会議員団事務局で頑張り、小倉北区選出の市議となりました。もちろん、今は国会議員!(堀田和夫氏FBより)

## 八幡市民会館の活用を求める連絡会(第28回)開催

8月1日(水)、上記連絡会が開かれました。この日は、10月~11月に企画している八幡区の歴史文化の魅力を紹介するパネル展示と講演会開催について話し合いました。広く八幡区民に呼びかけ、「けやき通りの街づくりを考える会」(仮称)を新しく発足させる案も提案されました。なお、連絡会が作成したリーフレット(おもて面)写真が「都市景観賞」にノミネートされ、市民投票で賞が決まります。連絡会は、「ぜひ、投票してください」と呼びかけています。投票方法は次の3とおりです。



- ① 市庁舎1階、およびコムシティ4階に展示のパネルを見て、その場で投票する。
- ② ネットで投票する

## 2018 9月 今後の予定

### 9条の会・北九州憲法ネット総会

日時: 9月1日(土) 14:00  
場所: ムーブ5F大セミナー室

### 望月衣瑠子講演会「ジャーナリズムの危機」

日時: 9月2日(日) 14:00  
場所: 商工貿易会館2F

### 「線量計が鳴る」北九州上演実行委員会

日時: 9月4日(火) 18:30  
場所: 生涯学習総合センター

### 312回さよなら原発金曜行動

日時: 9月7日(金) 18:00  
場所: 小倉駅デッキ

### 313回さよなら原発金曜行動

日時: 9月14日(金) 18:00  
場所: 小倉駅デッキ

### 地区労連定期大会

日時: 9月16日(日) 10:00  
場所: 毎日会館

### 314回さよなら原発金曜行動

日時: 9月21日(金) 18:00  
場所: 小倉駅デッキ

### 北九州革新懇総会

日時: 9月22日(土) 14:00  
場所: 戸畑生涯学習センター

### 市職労定期大会

日時: 9月23日(日) 9:30  
場所: 生涯学習総合センター

### 日中平和友好条約締結40周年記念

日時: 9月23日(日) 14:00  
場所: 福岡市中央市民センター

### 315回さよなら原発金曜行動

日時: 9月28日(金) 18:00  
場所: 小倉駅デッキ